

週日の説教

金 大烈 神父 2010年1月22日(金)

《私たちの基準》

こんばんは

今日は先ず、第一朗読(サムエル上24・3-21)について考えてみましょう。この話はサウロとダビデの物語です。この二人に言える共通点は何でしょうか。先ず、神様を自分の“主”として受け入れた人でした。そして、二つ目の共通点は、神様によって“聖なる油”を注がれた人です。選ばれて、民のために一律な役割を与えられた“主”として、神様に認められた二人でした。しかし、神様を自分の“主”としていた二人の間にも違いがありました。

サウロが見せた振る舞いは、妬み、嫉妬、劣等感によって、神様が遣わされた正しい者を攻めようとし、その誘惑に負けてしまった人です。

ダビデはどんな人だったのでしょうか。やっぱり彼も人間的な弱さを持っていた人です。けれども、先ず“主”のことを第一に考えた人でした。サウロに関しては「私を攻め、命を奪おうとしたけれども、彼は神様に選ばれた人であり、聖なる油を注がれた者である。私はその方を手にかける事は出来ない。」と、自分との戦いをした人です。ですから、始めての王としてサウロが選ばれたのですが、イスラエルの全歴史の中で、ダビデがいつも王として讃えられるのです。

弱さに関しては、預言者ナタンの叱責を受けたように、部下であるウリヤという將軍の奥さんをうばってしまい、それを正当化するために、その夫である將軍を戦死させる事さえやってのけた人でした。人間として、行ってはいけない事を沢山した人でしたが、彼は何よりも「主を愛する心、悔い改める心」が強かったので、神様にいつも赦されてきた一人の人です。

このように“主”を拝み“主”の内に子供として生きているにも拘わらず、私達カトリック信者の世界の中でも、この二人が見せたような、人として行ってはいけない事をしてしまう場合があります。その理由は、色々な否定的な感情によって生じることだと思います。

今日の第一朗読を読んで、私達は、何かのぶつかりがある時、そのぶつかりから解放されるために、何を基準として考えたらいいのでしょうか。ダビデの選びは“主”でした。私達も何か葛藤がある時、その基準は“イエス様”である事を、思い起こす必要があると思ってみました。

さあ、今日の福音(マルコ3・13-19)に入ってみましょう。イエス様が十二人を選び使徒と名付けられたことが語られています。イエス様が呼び掛けて、使徒としたその理由は、この世界に福音を述べ伝え、色々な人々を救い、悪霊を追い出す権能を授けるためであると書いてあります。

イエス様は、どのようなお気持ちで十二人の使徒を選び遣わそうとなさったのでしょうか。その心を押し量る必要があると思います。

悪霊に取り付かれた人々を解放する、病人を癒す、その目的は何でしょうか。福音を述べ伝え、神様の国が近づいた事を人々に知らせる、その目的は何でしょうか。どんな心でイエス様は、人々を遣わそうとしたのでしょうか。

2000年を経た今のこの時代にも、私達を遣わそうとするイエス様のみ心とは何でしょうか。

あるお母さんが、子供を連れて病院の小児科を訪ねました。そして、お医者さんに「この子は年齢よりも、同じ年代の子供よりも体重が少なく、やせ過ぎじゃないかと思って、気になって連れて来ました。」と話しました。お医者さんはその子供の様子を見て、色々考えながら診察しました。出された処方箋を見てお母さんが驚きました。そこには「この子供は、毎日三回以上愛されなければなりません。」と書いてあったそうです。これは愛情の欠乏症という診断ですよ。しかし、この子供に限った話だとは思えません。ニュースを見ても、新聞を見ても、自分と関わっている色々な世界を見ても、愛情に飢えている人々、いわゆる、欠乏症を見せている人々が、10人いればその中の8人はこういう面を持っていると思います。家族の中でも、友達の関わり中でも、社会の中でも、又この教会の中でさえこの現象が見られます。

御父が世界を作られた時、人間に望まれた、そのみ心は、「美しいこの地球で、美しく生きてほしい。」という事だったのではないのでしょうか。けれども、イエス様が2000年前に来られた時、そのみ旨が行われていない人間の姿を見て、何よりも、もどかしい心をお持ちになられたのだと思います。ですから、使徒達を選んで「福音を述べ伝えなさい」と、遣わそうとなさったのでしょ。

イエス様のみ心とは“愛を叫びなさい”という一言につきるのではないかと思います。今の時代に生きる私達、特にキリストの福音を分かっている私達が、何よりも基準として選ばなければならないのは、“愛”だと思います。

このように“愛を叫びながら、実践しながら”私達は生きているのでしょうか。

私達の、暖かい一言によって救われる人々がいるにも関わらず、無関心に過ぎてしまう場合が沢山あるのではないかと、今日の福音で黙想してみました。

ありがとうございました。